

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	マッピング(ラウドネススケールとインピーダンス)に関して、学生が説明できるようにする。	PC (Power Point) スピーチプロセッサ・インプラン(デモ機) 教科書	第7回目の用語を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	人工内耳のマッピング		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴性脳幹反応の原理・測定方法を理解する	PC (Power Point) 聴覚解剖モデル 教科書	第1、第2回目の復習
		各コマにおける授業予定	補聴器・人工内耳の理解に必要な聴覚系の解剖・生理(第1・2回の復習および聴性脳幹反応と補聴器・人工内耳の関連性について)		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	失聴になる原因疾患と病態を理解し、補聴器・人工内耳の適応を考えることができる。	PC (Power Point) 聴覚解剖モデル 教科書	聴覚の解剖・生理を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	補聴器・人工内耳が必要になる疾患・病態について		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査・評価に対する違い(迷路性・後迷路性もふくみ)を理解し、補聴器・人工内耳の適応を理解する。	PC (Power Point) オーディオメーター 教科書	第10回の復習
		各コマにおける授業予定	補聴器・人工内耳が必要になる疾患・病態に対する検査・評価について(成人)		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の場合、発症時期・病態によって、検査が違うため、どの検査を選択するのかを理解する。	PC (Power Point) 聴力検査室 教科書	第10回の復習
		各コマにおける授業予定	補聴器・人工内耳が必要になる疾患・病態に対する検査・評価について(小児)		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	等級決定の方法を理解する。	PC (Power Point) 教科書	事前に用意する資料を学習しておく。
		各コマにおける授業予定	補聴器・人工内耳に関する保険制度や障害者福祉制度について① (障害者福祉手帳に関して)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	新しく開発されていく補聴器の構造を理解する。	PC (Power Point) 教科書	事前に用意する資料を学習しておく。
		各コマにおける授業予定	特殊な補聴器機器に関して① (集音機器や軟骨伝導型補聴器、オープンフィット補聴器など)		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の調整に必要な用語を正確に理解する。	PC (Power Point) 教科書	第4回を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	補聴器に関する用語の解説		